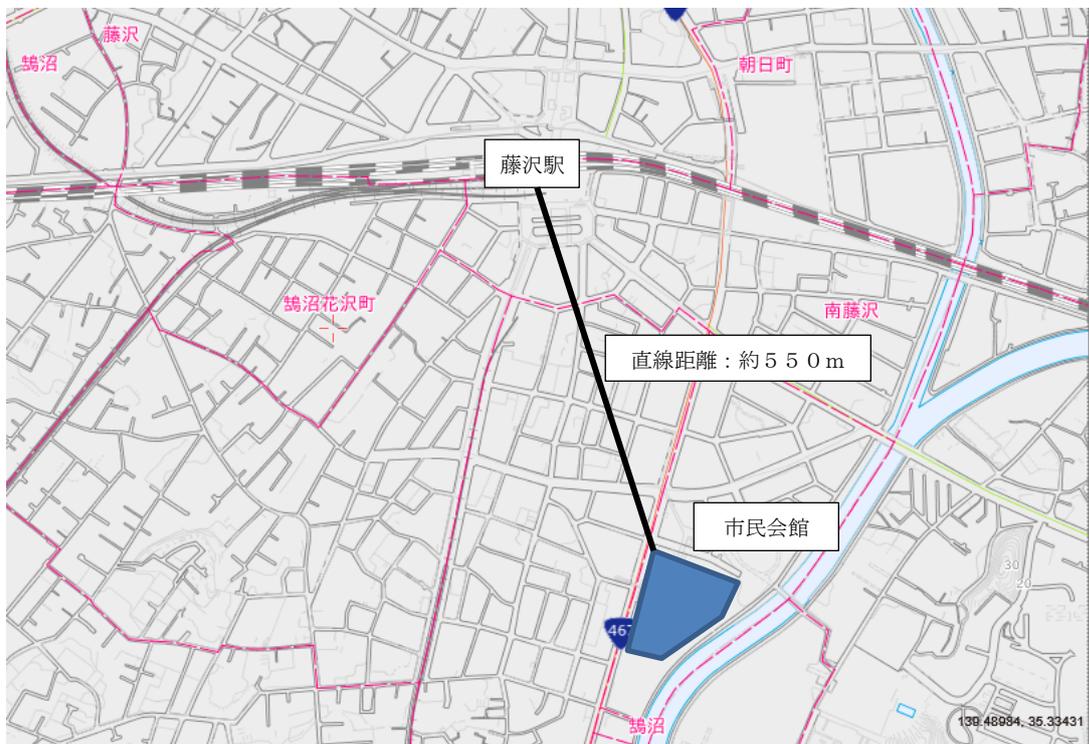


藤沢市民会館について

市民会館は、地域の公民館等で活動を行っていた文化団体をはじめとする様々な人の要望に応え、昭和43年10月に開館しました。市民会館のホールは市民オペラや様々な団体の催し物、合唱祭、吹奏楽コンクール、成人式など、様々なことに利用されています。かつては結婚式場としても使用されていました。鈴木市長も市民会館で結婚式を挙げられたそうです。

- 1 開館日：1968年（昭和43年）10月1日
（今年の10月で開館51年）
- 2 場所：藤沢市鵜沼東8-1
- 3 広さ・敷地面積：約17,754㎡
（サッカーコート（105m×70m）約2.4面分）
 - ・建築面積：約4,637㎡
 - ・延床面積：約10,590㎡
（秩父宮体育館メインアリーナ（1,789㎡）約6面分）





4 市民会館にある施設

	広 さ (床面積)	客 席 数 (最大収容人数)
大ホール	6, 4 3 0 m ²	1, 3 8 0 席
小ホール	1, 0 0 9 m ²	4 3 4 席
第1展示集会ホール	3 7 3 m ²	5 0 0 人
第2展示集会ホール	3 1 9 m ²	2 5 0 人
会議室 (第1、第2、 教養室、和室合計)	2 7 5 m ²	1 4 8 人
集会室 (まつ、ふじ、 かわせみ、さくら)	3 3 4 m ²	1 7 0 人
レストラン	1 6 4 m ²	8 5 人

5 市民会館の敷地内や近隣にあるその他の公の建物

- ・ 旧近藤邸 ・ 旧南市民図書館 (閉鎖中) ・ 秩父宮記念体育館
- ・ 南消防署 ・ 保健所 ・ 藤沢保育園 ・ 子育て支援センター
- ・ 奥田公園駐車場 ・ 文書館 ・ 藤沢青少年会館

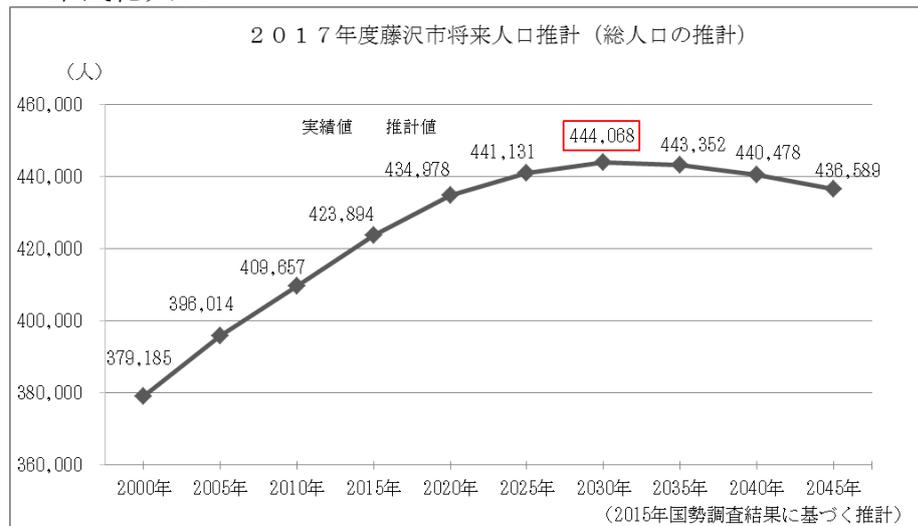
6 藤沢市の抱える将来課題

(1) 少子化・高齢化

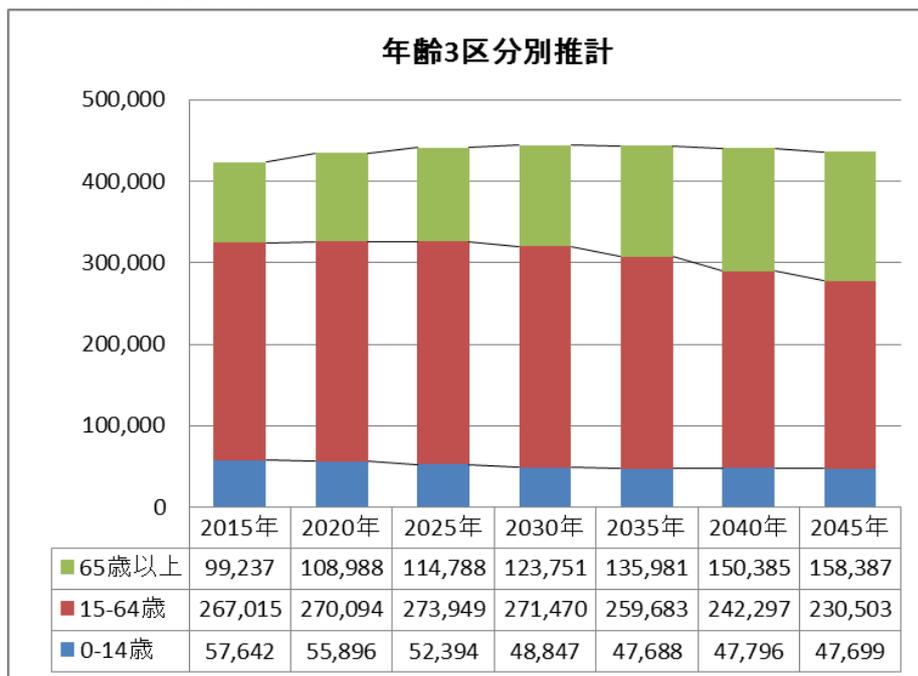
全国的にみると人口が減少していく時代に突入していますが、藤沢市の人口は増加傾向にあります。藤沢市の人口は2030年にピークを迎え、その後減少に転じる見込みですが、約25年後の2045年においても43万5千人（2020年推計値）を上回る見込みです。

しかしながら、少子・高齢化については、全国平均よりは幾分か遅れているものの確実に進行しています。

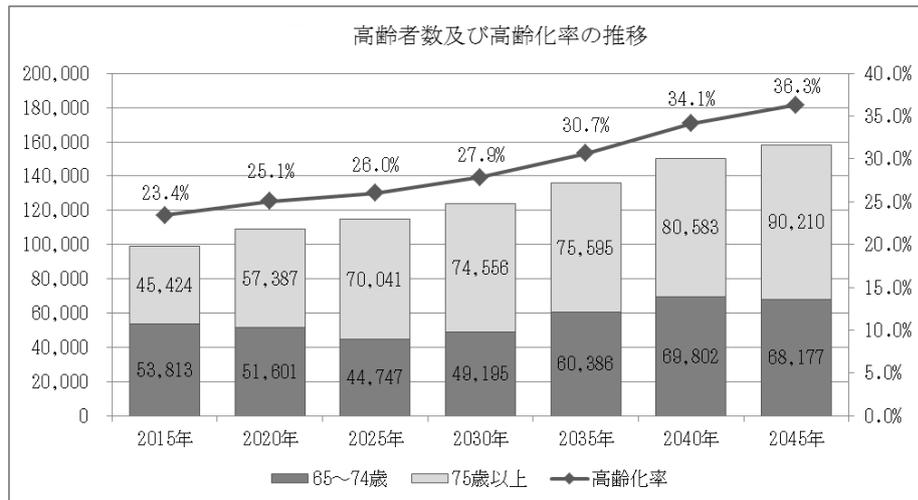
ア 市民総人口



イ 年齢3区分別推計



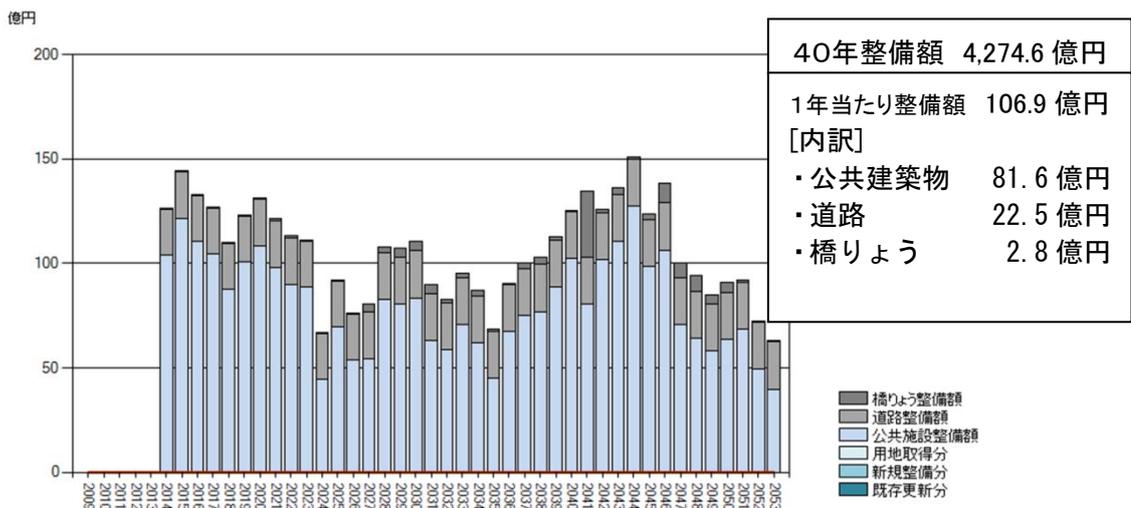
ウ 高齢者人口及び高齢化率



(2) 公共施設等の老朽化

藤沢市には330施設1,227棟、延べ床面積76万㎡に及ぶ公共施設があります(病院、下水道施設を除く)。うち、築40年以上の建物は200棟、15万㎡、築50年以上の建物は21棟、1万㎡にもなります(2015年3月31日現在)。

昭和30年代から昭和50年代の人口増加に合わせて公共施設を整備してきたことから、今後多くの施設が更新を迎えることとなります。これらの施設を現在の規模のまま更新しようとする40年間で4,274.6億円(1年あたり約107億円)かかると試算されています。



(3) 厳しい財政事情

市の収入の半分以上を占める市税収入は約780億から790億円
円でほぼ横ばいになっているのに対し、市が支出することが義務付け
られている「義務的経費」は、年々増加の一途をたどっています。こ
のことから、市が自由に使えるお金（「政策的経費」）が減少し、今後
サービスの低下につながる恐れがあります。

● 歳出全体に占める義務的経費の割合

